

# 会報

No. 46

平成10('98)年8月15日

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市下京区西七条八幡町31  
京都府立図書館仮施設内  
TEL (075)321-0200

## 就任のごあいさつ

京図連協会長 村上康夫

去る四月十七日の理事会におきまして、京図連協の会長に選出されました。皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

今日、図書館をとりまく状況は、国においては図書館法の大幅な見直しが進められており、また、図書館に対する住民の期待とニーズを背景に、ネットワークを利用したサービスの提供など、さらに幅広い図書館活動が求められております。一方、自治体の財政状況が悪化し、図書館にもその影響が出ております。

京都府の図書館の動きを見ますと、現在府立図書館の建設が進んでおり、また府内各自治体にも次々と図書館建設計画が出ております。

図書館の建設は、生涯学習の進展



に、地域文化の発展に欠かすことのできない重要なことであり、京図連協としても喜びにたえないところであります。

しかしながら、府内町村全体の図書館設置状況は、依然としてさびしい状況にあります。今後、新府立図書館には、未設置町村の解消や図書資料・情報サービスの中核となり市町村支援を一層強めていただくよう

切望します。また京図連協も時代に即した図書館サービスの充実など図書館事業の相互協力を積極的にすすめていく必要があります。

このような難しい時期、京図連協としては、府立図書館をはじめ関係各位の適切なご指導とご支援が何より必要であります。

最後に、それぞれの図書館あるいは図書室が地域住民の方々の身近な施設としておいに親しまれ利用されることを祈念いたしましてご挨拶とします。

## 平成十年度定期総会開かれる

平成十年度定期総会が五月二十九日(金)に京都府立総合資料館会議室で開催されました。

開会に際して、村上康夫会長のあいさつ。つづいて平成十、十一年度理事の紹介が行われました。

### ◇総会議事◇

総会は、井手町図書館林芳男館長を議長に選出。加盟館三十館の出席、十五館の委任状で総会が成立していることを確認し、議事がすすめられ、平成九年度会務報告・決算報告、平

成十年度事業計画・予算案、会則改正案(文言訂正も提案)、顧問委嘱・監事選出について、報告・提案どおり承認されました。

### ◇会務報告◇

会務報告では、新府立図書館建設のため、平成九年九月に図書館が仮施設に引っ越しをして、資料の多くが箱詰め凍結されたまま市町村サービスを行っている府立図書館の状況と新館に向けての動き。また、市町村図書館等の特徴的な動きとして、

四町立図書館（木津町、精華町、山城町、加茂町）で広域個人貸出を八月から試行し、自治体をこえたサービスマ面での充実。九年四月の京都市醍醐中央図書館の新設、六月の宇治市西宇治図書館の新設に続いて、十年度には、園部町立園部中央図書館の新築移転、京都市では南区に十八館目の図書館が新設予定であり、左京図書館及び下京図書館の新築移転の計画がある。

さらに、精華町では、新町立図書館建設へ向け基本計画を策定。久御山町では、くみやまふれあい交流館・図書館（仮称）の建設計画など施設面での充実。日吉町や岩滝町など未設置町村での図書館設置への動きが報告されました。

相互協力では、「FAX版WANTED」の実施に伴い、市町村相互貸借が引き続き大幅な伸びを示している状況や、この取り組みの中での課題も提示されました。

さらに、図書館におけるコンピュータの導入や更新、京都市では全館オンラインにむけて、情報網「京（みやこ）・ライブラリーネット」の整備に九年度から着手など、図書館間のネットワーク化が進んでいる状況も報告されました。

事業報告では、第六回京都図書館

大会の成功、研修事業の充実や相互協力事業の活性化、広報紙面の充実などが取り上げられました。この中で、研修事業は、一泊研修も含めて南部・中部・北部と三つの会場で開催したことによってより多くの図書館職員が参加しやすいた状況になったことが特筆されます。相互協力委員会では、「府立図書館対市町村サービスマ休止中の相互協力業務実態アンケート」を行い結果をまとめ配布しました。

### ◇ 事業計画 ◇

平成十年度事業計画では、総会・理事会の開催をはじめ、研修研究・



相互協力・広報の各事業の他、関係機関への要望活動や第七回京都図書館大会の開催への対応などがかけられ、それぞれの委員会などで具体化が図られることになりました。

### ◇ 十年度被表彰者 ◇

- 井上 孝子（京都市山科図書館）
- 井上 典子（京都市西京図書館）
- 小西美知夫（京都市吉祥院図書館）
- 高橋千佳子（京都市久我のもり図書館）
- 直井 典子（京都市中央図書館）
- 中村真紀子（京都市左京図書館）
- 三丸 直子（京都市中央図書館）
- 山口 文子（京都市醍醐図書館）
- 鎌田 高明（向日市立図書館）
- 安田 美紀（元向日市立図書館）
- 五十棲千景（長岡京市立図書館）
- 山田 真澄（長岡京市立図書館）
- 中澤美佐子（宇治市西宇治図書館）
- 葭村 かよ（城陽市立図書館）
- 出口 宏子（八幡市立男山市民図書館）
- 高向 洋祐（元亀岡市立図書館）
- 竹之内英子（舞鶴市立西図書館）
- 金田 清栄（京都市立総合資料館）
- 持田木乃美（京都市立総合資料館）
- 井田 茂子（京都市立図書館）
- 久保 直弘（京都市立図書館）
- 小林 凱之（京都市立図書館）
- 松井 弘子（京都府立図書館）

### ◇ 事例発表 ◇

定期総会の後、事例発表会が行われ、新館設置オーブンに向けての苦労話や利用状況、今後の課題について発表されました。発表テーマと発表者は次のとおり。

「醍醐中央図書館準備室から二年」  
京都市醍醐中央図書館 仲田 義明氏

「開館から今日まで——宇治市二つ目の分館として」  
宇治市西宇治図書館 中澤美佐子氏

### ◇ 新役員体制 ◇

- 〈会長〉 村上 康夫（向日市立図書館）
- 〈副会長〉 嵯峨根行雄（舞鶴市立東図書館）
- 〈理事〉 駒井 孝次（京都市西京図書館）
- 中川 晴夫（京都府立図書館）
- 河原 忠（京田辺市立中央図書館）
- 福田 允治（京都市醍醐中央図書館）
- 林 芳男（井手町図書館）
- 澤田 種治（精華町立図書館）
- 山下 昇（亀岡市立図書館）
- 矢谷 喜博（京北町文化センター図書館）
- 矢野 和子（宮津市立図書館）
- 藤村 英子（峰山町立図書館）

〈監事〉

澤井 昭子（八幡市立八幡市民図書館）

小畑 弘（美山町立図書館）

〈顧問〉

小山 雄一（京都府立図書館）

保理江 久（京都府立総合資料館）

阿久澤宏一郎（京都市中央図書館）

〈事務局〉

事務局長 田中かず子

事務局員 西村 隆

岸 信廣

（京都府立図書館）

◆ 新館長紹介

京都市中央図書館 阿久澤宏一郎

同 醍醐中央図書館 福田 允治

同 北図書館 橋元 悦男

同 左京図書館 増田 邦雄

同 岩倉図書館 野間 正章

同 久我のもり図書館 五十嵐幸夫

京田辺市立中央図書館 河原 忠

久御山町立図書館 小山 豊嗣

亀岡市立図書館 山下 昇

園部町立園部中央図書館

松村 賢治

京都府立総合資料館 保理江 久

京都府立図書館 小山 雄一

◇ 第一回 理事会より ◇

今年度最初の理事会が四月十七日（金）、府立図書館で新しく選出さ

れた理事によって開催されました。

協議事項は、平成九年度会務報告・

収支決算報告、平成十年度事業計画

（案）・予算（案）、会則改正（案）、

監事の選出及び顧問の委嘱、平成十

年度職員表彰等について、それぞれ

協議の結果、定期総会に諮られるこ

ととなりました。

四月十五日付けで加盟申し込みの

あった岩滝町中央公民館図書室が承

認され、加盟館は五十五館となりました。

◇ 第二回 理事会より ◇

七月十五日（水）の午後二時より、

京都府立図書館で総会で承認されま

した各理事（京都市と山城管内各一

名増）との顔合わせと府立図書館小

山館長との懇談を主にした第二回の

理事会を開催しました。

総会後の活動報告、第七回京都図

書館大会第一回実行委員会の報告、

各委員会報告、日図協評議委員会報

告（会長）。小山館長から府立図書

館の現状等の話の後、活発な意見交

換がされました。その中でも、理事

会以外ですばやく対応できる委員会

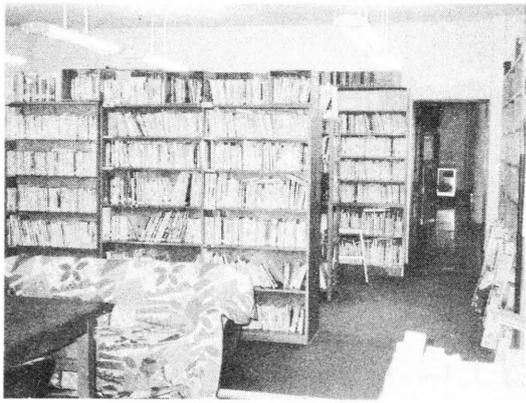
を設けてはどうかと提案され、仮称

「特別委員会」（専門委員会規則第

二条により）を設けることとなりました。

新 加 盟 館 紹 介

岩滝町立中央公民館



今年度より京図連協に加盟させて  
いただきました岩滝町立中央公民館  
図書室です。

当図書室は、昭和三十七年三月末

に完成した中央公民館の一角に開室  
して以来、三十六年の歴史ある図書  
室であります。日本三景のひとつ天

町の中心街にあり、町民が利用しや  
すく、便利で環境の良いところにあ  
ります。面積は三九平方メートル、  
書架スペース三一・五平方メートル  
の図書室ですが、蔵書冊数約七、三

五〇冊、府立図書館より五千冊、利  
用登録者数は約七五〇人で、ここ数  
ヶ月でリクエストも増えています。  
今後は、開室日を増やし、「また

本をかりに行こう」というような気  
楽な場として、岩滝町民の心のオア  
シスとなり、教養・文化を高める拠  
点として、また、子供達が積極的

に読書への興味・関心を高める場と  
なるよう、日々図書室サービスに務め  
ていきたいと思っています。

〈平成10年度研究集会等〉

- 第84回全国図書館大会
  - 於：秋田市
  - 10月21日（水）～23日（金）
- 全国公共図書館研究集会
  - 整理部門 於：大分市
  - 9月17日（木）～18日（金）
  - 奉仕部門 於：岐阜市
  - 11月25日（水）～26日（木）
  - 参考事務分科会 於：熱海市
  - 10月1日（木）～2日（金）
  - 児童図書館分科会 於：広島市
  - 11月18日（水）～19日（木）
- 近畿公共図書館協議会研究集会
  - 奉仕部門
  - 期日未定
  - （担当：和歌山県立図書館）
  - 参考部門
  - 期日未定
  - （担当：兵庫県立図書館）
- 地区別公共図書館研究協議会
  - 平成11年2月15日（月）
  - ～19日（金）
  - 於：京都府総合教育センター
  - （担当：京都府立図書館）

# 専 門 委 員 会 ニ ュ ー ス

## ◎ 研修研究委員会より

第一回の研修研究委員会を五月十九日に府立図書館で開きました。京図連協事務局にも出席いただきました。

研修計画は、例年にならない一泊研修を一回（九月、南部会場）と一日研修を二回（十一月に北部会場、翌年二月に中部会場）開催すること、及び各委員の担当を決めました。研修内容及び会場については、各研修会の担当委員に委ねました。

研修日については、依頼する講師の都合を勘案しなければならぬので未定ですが、開催予定月の木曜日か金曜日で決定する予定です。

早急に各研修会の実行委員会を開催し、研修内容の詳細を決定しますので、一人でも多くの参加をお願いします。

## ◎ 相互協力委員会より

六月二十六日に府立図書館で第一回相互協力委員会を開催し、各市町における相互貸借の現状や課題についての交流を中心に議論を行いました。

特に全公図「公共図書館相互貸

借指針（案）」が三月に示されたこともあり、そのことを踏まえて他府県等の様子も含め活発な意見交換が行われました。

また、「相互貸借だけでなく、近隣施設が連携しながら、例えば全集などは分担して収集できないか」などの提案や、「連絡協力車の運行回数増」などの要望も出されました。これらの意見については、さらに次回委員会で論議を深めることとなりました。

相互協力実務担当者会議については例年より時期を早めて、十一月に開催することとし、内容については各委員の意見を集約して事務局でまとめることになりました。

## ◎ 広報委員会より

今年度の会報は年三回、次の予定で発行します。

- 第四十六号 八月十五日
- 第四十七号 一月十五日
- 第四十八号 三月十五日

主な担当分野は、

- 京図連協の動向 河原・今泉
  - 委員会の動向 木下・大澤・今泉
  - 各地のたより 南部 村田・中谷
  - （京都市）木下（北部）生駒
  - （京都府）今泉・大澤
- 次回の広報委員会は十月二十九日に総合資料館で開きます。

## 平成十一年度

### 〔研修研究委員〕

#### 委員長

駒井 孝次 京都市西京図書館

#### 委員

- 長谷川幸治 京都市南図書館
- 岡野 英彦 向日市立図書館
- 山村 温子 宇治市中央図書館
- 端野 律子 八幡市立男山市民図書館

内田 貴子 宇治田原町立図書館  
石井 京子 京田辺市立北部住民センター図書室

濱田 愛 木津町中央図書館  
柳澤 光良 加茂町立図書館

栗林さよ子 亀岡市立図書館  
谷 義明 福知山市立図書館

吉田麻由美 宮津市立図書館  
中嶋 隆 京都ライトハウス点字図書館

岩崎 厚子 京都府立総合資料館  
亀村 志保 京都府立図書館

### 〔相互協力委員〕

#### 委員長

中川 晴夫 京都府立図書館

#### 委員

- 内ヶ島久美子 京都市中央図書館
- 三谷 千里 長岡京市立図書館
- 田中 芳子 城陽市立図書館
- 尾上日出丸 八幡市立八幡市民図書館

#### 書館

- 釘本 容子 京田辺市立中央図書館
- 城 洋子 精華町立図書館
- 鶴飼 弘子 亀岡市立図書館
- 河田美奈子 舞鶴市立西図書館
- 藤原恵美子 峰山町立図書館
- 田中 元美 京都府立総合資料館
- 中川 泰弘 京都府立図書館

### 〔広報委員〕

#### 委員長

河原 忠 京田辺市立中央図書館

#### 委員

- 木下 義高 京都市洛西図書館
- 村田恵里香 宇治市中央図書館
- 中谷 昌子 木津町中央図書館
- 生駒 彩子 綾部市図書館
- 大澤 周子 京都府立総合資料館
- 今泉八寿代 京都府立図書館

## 編集子

夏休みとなり、図書館の職員には最も多忙な季節となりました。

職員にとってはBMで行くにも、館内で奉仕をするにも大変な時期ですが、人と本をはじめとする資料の楽しい出会いを提供するという大切な仕事を任されている喜びを最も味わえるときではないでしょうか。